

# 作文部門

ヨクがんばったね、フロロ

横浜市立北方小学校三年 恒川 莉音 武

九才

八月三日、ぼくは、フロロに出会いました。  
フロロは、夕方、コンワリートの上で、遊んでいました。ぼくは、フロロを助けて、庭の木に止まらせようと思いました。でも、フロロは、なかなか木に止まりませんでした。ふつうなら、木にしっかりと止まって羽化します。そうです。フロロは、セミの幼虫です。ぼくは、前にも別のセミの幼虫を助けたこ

とがありました。そのときも、同じように木に止まらせてあげました。そのセミは、木に止まらせてあげたら、なにも動かずにじっとしていました。そして、午後七時五十分ごろからがわれて、羽化が始まりました。中からようせいみたいなセミが出ました。午後八時十分には体が全部出ていました。次の朝には、セミが消えていました。そのセミは、イソターネットや図かんにあるとおり、羽化して飛んでいきました。

フロロはちがいました。インターネットに  
 も、**図**かんにも。てない特別な幼虫でした。  
 フロロは、他の幼虫よりも力が弱くて体が小  
 さかったのです。それに、フロロには、右前足  
 の半分がありませんでした。でも、元気はあ  
 りました。ぼくは、まず箱を用意しました。  
 それから、フロロを箱の中に入れて家の中に  
 つれていきました。箱の中には、えだを入れ  
 てあげました。けれど、フロロはえだに上手  
 に止まりませんでした。た。ぼくが箱をのぞくと、  
 左前足をあげてぼくに手をい。ていました。  
 フロロは、  
 「ハロー」。  
 と、言っているようでした。でも、フロロに  
 は、右前足がないので左前足を上げたりえだ  
 から落ちてしまします。ぼくは、フロロに、  
 「そんなにハローをしないで」。  
 と注意しました。でも、フロロは、聞きませ  
 んでした。フロロは、午後八時になってもな  
 かなか羽化しませんでした。フロロが羽化す

るためには、ちゃんとつかまらないとだめ  
 なの。ぼくは、くっ下をえだにつけてあげ  
 ました。すると、フロロは、落ちないでしっ  
 かりんだにつかまりました。でも、ぼくが起  
 きている間は、まだ羽化をしてくれませんで  
 した。夜中に、お母さんが仕事をしている間  
 に羽化を始めました。羽化を始めた時は、深  
 夜十二時ごろだったそうです。フロロは、ほ  
 かのでミよりも、ずいぶんのんびり羽化を始  
 めました。

次の日の朝、ぼくは、フロロが羽化したこ  
 とを知って、うれしくて、とびはねました。  
 うれしくてたまらかったの、ぼくはフロロ  
 のところへ走っていきました。ぼくは、  
 っもういなくなっただの？もう飛んでいっ  
 ね。と、心の中でさけびました。ぼくは、箱の中  
 を見ました。それを見てびっくりました。  
 ぼくの気持ちが変わりました。  
 っまだ、そこにいたの？まだ、飛んでい  
 かな

いの？  
 と、ぼくは、フクロに聞きました。そのとき、  
 ぼくは、たいへんなことに気づきました。フ  
 ロの羽がカールしていたのです。右前足が  
 半分なくて、羽もカールしているから、ぼく  
 は、フクロは飛べないかと思いました。  
 っかんばって羽化したから、もうおなかすい  
 たでしょ？  
 と、ぼくは、フクロに聞きました。ぼくはこ  
 うていダリアという植物のくきを切って、い

液が出ているところにフクロを乗せてあげ  
 ました。フクロの箱をげんかんの外の安全な  
 場所に置きました。夕方、フクロを確認する  
 と、箱の中にいませんでした。ぼくは、空を  
 見て、  
 ー無事に飛んでいったのねー  
 と、うれしくなりました。でも下を見たら、  
 コンクリートの上でフクロが散らしていまし  
 た。ぼくは、フクロを、あさがおのくぎに止  
 まらせました。夜になっても、フクロは、い

っ  
としていました。

三日目の朝、ぼくは、お母さんといっしょにプロロを見にいきました。プロロは、昨日と同じ場所について、まだ生きていました。すると、おおかいのおいさんが来ました。おおかいのおいさんは、

「これじゃ、飛べないなあ。」  
と、残念そうにしていました。お母さんは、指にプロロを止まらせて、安全な場所に連れていこうとしました。すると、プロロはかた

方の羽を広げて、庭のあいさいまで、低空飛行しました。プロロは、たった2メートルくらいのみよりだけと、にじをえかくように、飛びました。みんなは何度も、

「すごいなあ。」  
と、言いました。それ以外のことを言ったら、泣いてしまいました。たのです。プロロという名前は、ぼくが後から付けました。プロロが飛んだとき、羽がプロペラみたいで、こよか、たからです。プロロは、特別なセミに



11

なつて飛んでいきました。

実は、イソターネットには、  
ッけかをしているセミは、羽化できないし飛  
べない。

と書いておりました。でも、フコロは飛びま  
した。フコロは、ぼくに教えてくれました。  
誰かかぼくにできないと言っても、絶対にあ  
きらめない、ということです。